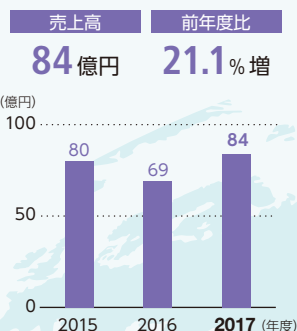


グローバル戦略

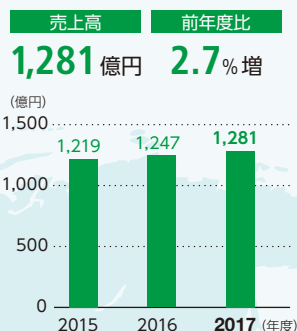
日本光電がこれまでに開発した製品は、世界120カ国以上に輸出され、世界各国の医療現場で使用されています。中期経営計画「TRANSFORM 2020」では、重要課題として「地域別事業展開の強化」を掲げており、日本、米国、新興国での事業強化に取り組んでいます。特に、世界最大の市場である米国において、当社の生体情報モニタシステムが全米トップクラスの大学病院に導入されるなど、米国市場での日本光電のプレゼンスが向上しています。

欧州 売上高推移



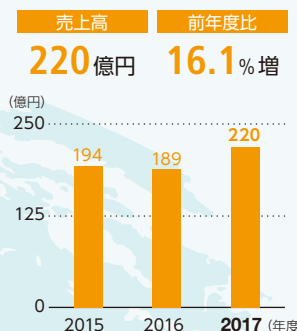
ロシアが好調に推移したほか、ドイツ、トルコでの売上が回復しました。

日本 売上高推移



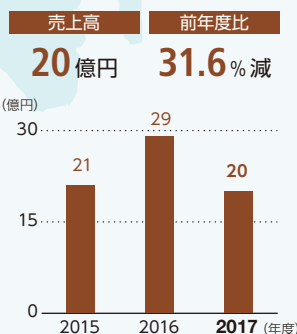
急性期病院、中小病院、診療所といった市場別の取り組みを強化するとともに、消耗品・保守サービス事業の拡大に注力した結果、売上を伸ばすことができました。

米州 売上高推移



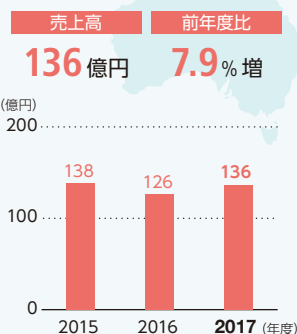
米国、中南米ともに売上が大きく伸長しました。

その他地域 売上高推移



前年度におけるエジプトでの大口商談の反動もあり、減収となりました。

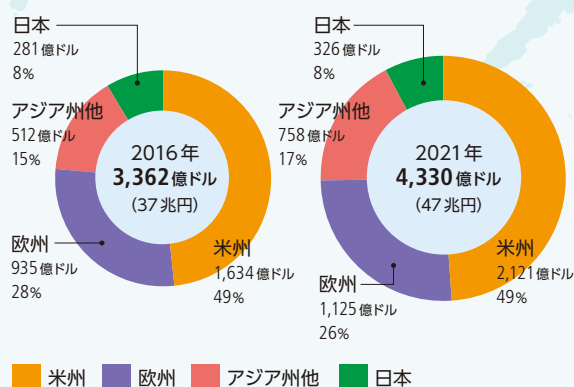
アジア州 売上高推移



中国が好調に推移したほか、中近東での売上が販売代理店網の整備などにより回復しました。

世界の医療機器の市場規模

世界の医療機器市場は、高齢化の進展と、新興国における経済発展に伴う医療ニーズの増大により、2021年に向けて年率約+5%で成長すると予測されています。



出典: BMI Research, Worldwide Medical Devices Forecasts to 2020
 ※1ドル=110円で換算